

ヘルメット 取扱説明書

この取扱説明書は、ご使用になる前に必ずお読みください。

この取扱説明書は、ヘルメットの正しい取扱方法について説明しております。ご使用前には必ず最後までこの説明書をお読みいただき、お読みの後は、当説明書を大切に保管していただきますよう、お願いいたします。ヘルメットは、いかなる事故にも絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素としてご理解のうえご使用ください。安全快適なバイシクルライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

各部の名称



ご使用毎のチェックと再調整

ヘルメットを使用するときには、正しくフィットしているか、ストラップは適切に調整され、適度に締め付けられているかチェックしましょう。

フィット具合のチェック

両手でヘルメットをつかみ左右に回転するように動かします。ヘルメットがきちんと固定されていれば、頭からずれません。※ヘルメットが頭からずれて動く場合はしめつけ方がゆるすぎます。再度調整してください。

ストラップのチェック

両手でヘルメットをつかみ前後に出来る限りずらしてみます。もし前後どちらかへヘルメットがずれるようであれば、正しく調整されていません。ヘルメットの動きが小さくなるまで調整を繰り返して下さい。

保管・お手入れについて

保管方法

使用後のヘルメットは自然乾燥させ、その後涼しく乾いたところで保管して下さい。夏期の自転車の上やカゴ、同乗器内などの直射日光の当たる場所や冬期の暖房機のそばなど摂氏50度以上の高温・高熱になる場所への放置や保管をしないでください。ヘルメットの品質低下を招くおそれがありますので絶対におやめください。

クリーニング

ヘルメット本体、ストラップ、パッドの洗浄は中性の石鹸と水だけを使用して下さい。化学石鹸は使用しないでください。

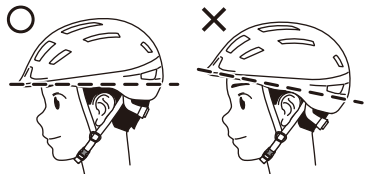


有機溶剤、ペイント、粘着剤によってはヘルメットを傷めるおそれがありますので使用しないでください。

ご使用の手順

Step1. 正しい位置で装着

ヘルメットはしっかり前頭部を守るため、前側がまゆ毛のすぐ上になるように装着してください。



CHECK!
ヘルメットが前後にかけて水平になるようにかぶりましょう。

正しいかぶり方

誤ったかぶり方



警告

- このヘルメットは「自転車専用」です。オートバイやその他の用途には絶対に使用しないでください。
- 国で定められている交通規則に必ず従ってください。

- ストラップは必ずしっかり締めてください。ストラップを締めなかつたり、締め方がゆるいと、万一転倒した時に脱げてしまい、頭を守ることができず非常に危険です。また、ヘルメットの下に帽子・フード・バイザー・ヘッドフォン等を着用しないでください。ヘルメットがずれたり、落ちるおそれがあります。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが濡れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが濡れていることが多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズがなくても、使用しないでください。
- ヘルメットの改造および分解は絶対にしないでください。ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、ストラップなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。
- ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。ガソリン・シンナー・ベンジン・熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。
- ヘルメットのペイントは絶対にしないでください。衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され衝撃吸収力が低下する場合がありますのでペイントは絶対におやめください。
- ヘルメットは大切に取り扱いってください。ヘルメットは床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万一のために大切に取り扱いってください。また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。
- ヘルメットの保管について
ヘルメットは直射日光の当たる場所での長時間の放置や、車の中および暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。ヘルメットに使われている材質等が変質して、性能が低下します。



注意

使用方法を誤ると、怪我や死亡事故につながる恐れがあります。本製品の誤った取り扱い及び改造などによる障害・事故につきましては、責任を負いかねますので予めご了承ください。

販売元：ホダカ株式会社

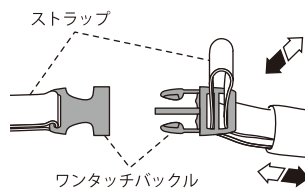
〒343-8520
越谷市流通団地 1-1-9
TEL：048-985-2000（代）

MADE IN CHINA

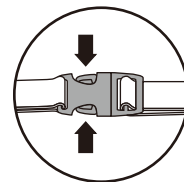
Step2. ストラップの長さの調整

ストラップの長さを調整してください。

ワンタッチバックルを留めるときには、ストラップがねじれないように注意してください。



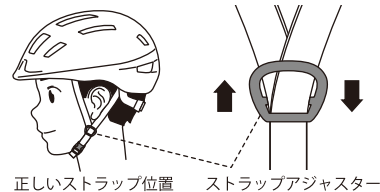
長くするとき ← 短くするとき



■ワンタッチバックルの外し方
矢印の部分を同時に押してください。

Step3. ストラップアジャスターの調整

ワンタッチバックルを留めたあと、しっかりと頭の側面に沿うように高さを調整します。後方からのびるストラップが耳の裏にすっきりと収まっているかを確認してください。

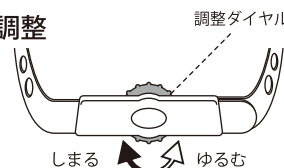


正しいストラップ位置

ストラップアジャスター

Step4. アジャスターバンドの調整

調整ダイヤルを回して頭部にフィットさせます。調整ダイヤルを時計回りに回転させるとバンドがしまり、反時計回りに回すとバンドがゆるみます。



しまる ゆるむ

※あまり無理な力で回転を与えると破損に繋がりますのでご注意ください。



警告

- ストラップは正しくしっかり締めてください。締めないままの走行は、万一転倒した際に大変危険ですので、絶対におやめください。
- ワンタッチバックルは、必ずホルダーの最後まで（カチッと音がするまで）きっちり押し込んでください。押し込みが不完全ですと、万一転倒した際にストラップホルダーが外れてしまい、大変危険です。
- ワンタッチバックルをとめるときは、顔や指を挟まないようご注意ください。ケガをする恐れがあります。

MA-HMT-003